



Enzo Mari e diecimila milioni di alberi di sugi

エンゾ・マリーが取り組む100万の1万倍もの日本の杉の木

ENZO MARI AND TEN-THOUSAND MILLION SUGI TREES

飛騨産業株式会社 会社沿革

日本有数の家具の産地として名を馳せる飛騨高山。その木工の歴史が始まったのは20世紀初頭のことであった。当時曲げ木の技術に着目し、それ迄手付かずであった豊富なブナの原生林を資材として、木工家具の生産を始めた草分け的な存在が、現飛騨産業株式会社の創始者白川政之助である。

現在飛騨産業株式会社は、日本で最も歴史のある家具メーカーのひとつである。

1920年代より中国、1937年にはアメリカへ輸出を開始。戦後は社会復興の為、家具に留まらず生活用具の製造にも着手する。

2000年12月、代表取締役役に岡田賛三(さんぞう)が就任。それ迄タブーとされてきた節を含む素材を用いた家具の生産に着手、爆発的な売上を記録。伝統的な家具業界に新風を吹き込む。2005年、日本の杉の木を利用した家具の集大成として、Enzo Mari氏とのコラボレーションによる家具シリーズを発表、世界に向けて発信する。

1966年	第1回ジャパンファニチャーショーにて総理大臣賞を受賞。
1968年	皇居・新宮殿に椅子を納める。
1984年	No.725 チェア G(グッドデザイン)マークロングライフデザイン賞受賞
2001年	杉の木を利用した家具の研究と試作に着手
2002年	節のある家具「森のことば」のリビングソファ グッドデザイン賞受賞
2003年	「wavok」シリーズ(杉使用) グッドデザイン賞受賞
2003年秋	Enzo Mari氏とデザイン契約を締結
2005年	Enzo Mari氏とのコラボレーションによる「杉の木」の家具シリーズを、ミラノ・サローネの特別展覧会にて発表

会社名	飛騨産業株式会社 Hida Sangyo Co., Ltd.
創業	1920年8月
代表取締役	岡田 賛三
資本金	3億円
従業員数	290名
年商	30億円(2003年10月 - 2004年9月)